

## 平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジャストプランニング  
 コード番号 4287 URL <http://www.justweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 崇宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 佐久間 宏

TEL 03-3730-1041

四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	1,351	△2.7	319	△2.6	330	△2.6	208	△67.6
26年1月期第3四半期	1,389	13.3	327	2.3	339	4.4	643	236.0

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 219百万円 (△34.1%) 26年1月期第3四半期 333百万円 (561.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	50.29	49.81
26年1月期第3四半期	143.06	142.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	2,671	2,430	89.2	573.93
26年1月期	3,041	2,288	74.0	542.18

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 2,382百万円 26年1月期 2,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	3.6	470	11.0	470	11.8	282	△58.8	67.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期3Q	6,090,300 株	26年1月期	6,090,300 株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	1,939,929 株	26年1月期	1,939,929 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期3Q	4,150,371 株	26年1月期3Q	4,501,505 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業を取り巻く環境は緩やかな持ち直しの動きが見られ、円安の進行による輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景とした景気回復が期待される一方で、個人消費は低調で、雇用情勢においては依然として厳しさが残っております。情報サービス産業ならびに当社が対面する外食産業におきましても、雇用不安や欧米経済の停滞などの影響により依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、ASPによるアウトソーシング事業とインターネットを活用したシステムソリューション事業に取り組み、外食産業のみならず、新業態への売上管理・勤怠管理・発注管理等のASPシステムの展開をしております。

また、平成24年よりASP事業「まかせてネット」をシリーズ化し、「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」および、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」の開発、株式会社IMCを持分法適用の関連会社とし、株式会社IMCが開発した店舗専用スマートフォンアプリ「AppCRM」の拡販・運営を開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間は、売上高1,351,603千円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益319,189千円（同2.6%減）、経常利益330,705千円（同2.6%減）、四半期純利益208,730千円（同67.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (ASP事業)

当社グループにおけるASP事業は平成11年8月より外食業界向けに「まかせてネット」というサービス名で、サービスを展開しております。外食店舗におけるPOSシステム、勤怠管理システム、発注システム等の情報を、当社ASPセンターで受信し、各企業データシステムへと展開して、売上管理・勤怠管理・発注管理等の本部システムを稼働させ、外食本部からは、インターネット経由で当社ASPセンターにアクセスすることにより本部システムを利用することができるようになっております。当第3四半期連結累計期間は、ASP事業「まかせてネット」の進化版「まかせてネットEX」及び、クラウド型POSオーダーリングサービス「まかせてタッチ」、持分法適用の関連会社である株式会社IMCが開発した店舗専用スマートフォンアプリ「AppCRM」の拡販・運営を行っております。当第3四半期連結累計期間のASP事業の売上は672,828千円（前年同四半期比0.7%減）、セグメント利益は519,239千円（同0.2%増）となりました。

## (システムソリューション事業)

当社グループでは、平成6年3月の設立以来、外食業界向けの店舗システム及び本部システム(POSシステム、出勤システム、食材発注システム)等の業務システム構築全般にソフトウェアの企画・開発・販売を行ってまいりました。システムソリューション事業の業務内容は、外食業界の業務システムにおけるソフトウェア受託開発、POSシステム導入におけるシステム設定作業やシステム運用・業務コンサルティングやそれに伴うハードウェア導入、当社POSシステムユーザーに対する消耗品販売等を行っているPOSシステムソリューションから構成されております。当第3四半期連結累計期間のシステムソリューション事業の売上は69,851千円（同58.5%減）、セグメント利益は19,462千円（同56.3%減）となりました。

## (物流ソリューション事業)

当社グループでは、外食チェーン企業等に対する物流ソリューション(3PL:サードパーティロジスティクス=企業の流通機能全般を一括して請け負う)やマーチャндаイズソリューション(コンサルティング、コーディネート)、本部業務代行(伝票処理、受発注代行、商品管理)等のソリューションサービス事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間の物流ソリューション事業の売上は586,251千円（同12.1%増）、セグメント利益は85,990千円（同14.0%増）となりました。

## (その他事業)

当社グループでは、平成21年8月より、直営の外食店舗を社員により営業を行っております。社員による運営により、店舗運営ノウハウの社員研修、情報システム開発、新システムのテストマーケティング等に活用しております。当第3四半期連結累計期間のその他事業の売上は22,671千円（同11.2%増）、セグメント利益は6,277千円（同62.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて370,033千円減少し、2,671,753千円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少1,106,103千円、売掛金の増加4,739千円、未収還付法人税等の増加133,101千円、建設仮勘定の増加277,774千円、投資有価証券の増加367,235千円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて512,067千円減少し、241,299千円となりました。主な増減は、買掛金の増加16,723千円、短期借入金の減少200,000千円、未払法人税等の減少372,741千円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて142,033千円増加し、2,430,453千円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加125,722千円、その他有価証券評価差額金の増加6,036千円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内外の景気動向につきましては、金融市場の先行きが不透明な状況にあることや、個人消費の低迷などにより引き続き厳しい市況が続くものと思われまます。当社グループでは、景気の先行き不透明感による厳しい経営環境を踏まえて、経営資源の効率化と業務の合理化を図ってまいります。また、新業態へのASPシステムの展開を強化し、多様化するマーケットの要請に対して柔軟に対応できる体制を確立することにより、営業力・システム競争力の強化を図り、利益体質の一層の改善につなげてまいります。

第3四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年3月14日付の決算短信に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、平成26年9月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,350,141	1,244,038
売掛金	206,387	211,126
たな卸資産	1,190	1,714
未収還付法人税等	—	133,101
その他	68,103	20,195
貸倒引当金	△24,141	△19,012
流動資産合計	2,601,682	1,591,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,052	23,720
建設仮勘定	175,165	452,939
その他(純額)	43,753	45,942
有形固定資産合計	232,971	522,602
無形固定資産	93,735	77,653
投資その他の資産		
投資有価証券	39,188	406,423
その他	84,688	83,979
貸倒引当金	△10,478	△10,071
投資その他の資産合計	113,397	480,332
固定資産合計	440,104	1,080,588
資産合計	3,041,786	2,671,753

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	122,714	139,437
短期借入金	200,000	—
未払法人税等	382,636	9,895
繰延税金負債	—	2,665
賞与引当金	1,480	7,388
その他	40,425	75,695
流動負債合計	747,256	235,081
固定負債		
資産除去債務	6,109	6,217
固定負債合計	6,109	6,217
負債合計	753,366	241,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,299	381,299
資本剰余金	239,032	239,032
利益剰余金	3,093,531	3,219,254
自己株式	△1,463,611	△1,463,611
株主資本合計	2,250,252	2,375,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	6,036
その他の包括利益累計額合計	—	6,036
新株予約権	10,311	15,384
少数株主持分	27,855	33,057
純資産合計	2,288,420	2,430,453
負債純資産合計	3,041,786	2,671,753

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	1,389,561	1,351,603
売上原価	747,374	720,633
売上総利益	642,186	630,969
販売費及び一般管理費	314,398	311,779
営業利益	327,787	319,189
営業外収益		
受取家賃	360	360
受取利息	301	439
受取配当金	4,626	1,260
持分法による投資利益	6,964	9,436
雑収入	391	239
営業外収益合計	12,642	11,734
営業外費用		
支払利息	296	46
支払手数料	611	172
営業外費用合計	908	218
経常利益	339,521	330,705
特別利益		
投資有価証券売却益	704,983	20,000
特別利益合計	704,983	20,000
特別損失		
投資有価証券評価損	477	—
固定資産除却損	5,934	—
特別損失合計	6,412	—
税金等調整前四半期純利益	1,038,092	350,705
法人税、住民税及び事業税	432,001	95,972
法人税等調整額	△40,737	40,801
法人税等合計	391,263	136,773
少数株主損益調整前四半期純利益	646,829	213,931
少数株主利益	2,861	5,201
四半期純利益	643,968	208,730



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	646,829	213,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△313,200	6,036
その他の包括利益合計	△313,200	6,036
四半期包括利益	333,628	219,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,767	214,766
少数株主に係る四半期包括利益	2,861	5,201

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ASP事業	システムソ リユーショ ン事業	物流ソリュ ーション事 業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	677,888	168,216	523,069	20,386	1,389,561	—	1,389,561
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,517	—	18,440	—	40,957	△40,957	—
計	700,405	168,216	541,509	20,386	1,430,518	△40,957	1,389,561
セグメント利益 (売上総利益)	518,343	44,525	75,451	3,866	642,186	—	642,186

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ASP事業	システムソ リユーショ ン事業	物流ソリュ ーション事 業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	672,828	69,851	586,251	22,671	1,351,603	—	1,351,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,636	—	18,066	—	43,702	△43,702	—
計	698,465	69,851	604,317	22,671	1,395,306	△43,702	1,351,603
セグメント利益 (売上総利益)	519,239	19,462	85,990	6,277	630,969	—	630,969

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。